

## 図書館だより

●開館時間●  
9:00～18:00

●2月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

- 休館日
- おはなし会
- ひろたのみんなのおはなし会
- にこにこほっぺのおはなし会

砥部町立図書館  
☎ (962) 4400

電子図書館で読書を  
楽しみませんか？  
町内の方の利用登録を  
受付中です！  
詳しくはホームページを  
ご覧ください。



### 新着紹介

『青春をクビになって』  
『最愛の』  
『777』  
額賀 滯  
上田 岳弘  
伊坂幸太郎



『かたばみ』  
木内 昇  
KADOKAWA 刊

女性の生き方もままならない戦後の混乱と高度成長期の中、小金井で教師をしていた梯子は、よんどころのない事情で家族を持つことに…。血の繋がらない親子を描く、笑い涙のホームドラマ。『北海道新聞』等連載を加筆修正。



『ヒロイン』  
桜木 紫乃  
毎日新聞出版 刊

1955年、渋谷駅で毒ガス散布事件が発生。指名手配されたのは宗教団体の幹部男性と、何も知らずに同行させられた23歳の信者岡本啓美。この日から、無実の啓美の長い逃亡劇が始まった。『サンデー毎日』連載を加筆・修正。



『サドンデス』  
相場 英雄  
幻冬舎 刊

21歳の理子はある女性との出会いで人生が好転。百貨店をクビになった小島はSNSで見た理子を妬む。そんななか、無差別殺人事件が立て続けに起きる。警視庁の長峰は事件の共通点に気づき…。『小説幻冬』連載を加筆修正。

# スクールソーシャルワーカー通信

不登校に関する相談窓口のリーフレットをお配りしました



宮下夕希さん

相談窓口を掲載したリーフレットが12月に町内の小中学校を通じて配布されていますが、小中学校の皆さん、保護者の方々、読んでいただけましたでしょうか？

不登校に限らず、学校生活、家庭生活、地域生活、ネット生活で悩んでいることや困っている時にも役立つと思いますので、手元に置いていただくと幸いです。

そして、「困ったな」「どうしたらいいのか」というときには気軽に相談窓口へ連絡してください。解決の糸口を一緒に探っていきます。

## スクールソーシャルワーカーは、数ある相談窓口のひとつです

どの窓口に行けばいいか、どんなサービスや制度を使ったらいいかわからないときには一緒に考えます。町内の子どもたちが安全に、幸せに生きていけるように一緒に考え、お手伝いをします。何か困ったときには「スクールソーシャルワーカーがいたな。話してみようかな」と思っていたら嬉しいです。この通信コーナーは今回が最終回です。読んでくださった皆さん、ありがとうございました。

☎ 学校教育課学校教育係  
(962) 4820

教科書の文字を読んだり

ノートに文字を書いたりすると  
頭が痛くなってしんどいです。

小学生から  
こんな相談がありました

一見「怠けているのではないか」「やる気がないのではないか」と捉えてしまいがちですが、文字の読み書きの困難さには、脳機能の発達に関係する場合があります。全体的な発達に遅れはないものの、生まれつき読み書きに限定して困難がある「ディスレクシア」という症状です。

今回の相談には、子ども本人や保護者、担任の先生等から詳しく話を聴いたあと、専門的な評価や診断をしてくれる医療機関を紹介したり、学校や家庭での学習環境の調整を行いました。



古谷大志さん